

笑いと健康を求めて
おおのシアター寄席

2018年**6**月**24**日(日) 開演 13時 (12時30分開場)

木戸銭 500円 5月19日(土)から総合市民センターで発売 9時~17時

全席自由席 94席限定

活動弁士 **坂本 頼光**

落 語 **炊亭あたり、岐阜大学落語研究会学生**



坂本 頼光 (さかもと らいこう) 活動弁士

活動弁士とは、戦前の無声映画を上映している横で語りを付ける人物のこと。説明だけでなく、すべてのセリフを一人で演じきる。映画の歴史について解説することも多い。しかし、その存在は知っていても実際には見たことがない人がほとんどだろう。なにせ、プロの活動弁士は現在日本にたった10数人しかいない。そんな中、若手のエースと目されているのが、この坂本頼光である。

少年時代は漫画家志望で、水木しげる作品に傾倒。ひたすら妖怪の絵ばかり描く日々を送るも、中学二年頃より映画熱にとりつかれ、やがて活動写真弁士(無声映画の説明者)を志すようになる。1997年に『鞍馬天狗』で初舞台。2000年12月、正式デビュー。以降、時代劇作品を主に活弁ライブを行う。これまでの説明作品は『番場の忠太郎・暎の母』『鞍馬天狗』『実録忠臣蔵』『カリガリ博士』『バグダッドの盗賊』『キッド』『伊豆の踊子』『国定忠治』他、約60本。08年には、japan国際コンテンツフェスティバル特別企画『雄呂血』上映会で弁士を務め、清水靖晃オーケストラと共演。10年にはアメリカのエール、スワスマア、コルビー他五大学の無声映画公演に参加。12年にはフランスの映画保存機関シネマテーク・フランセーズ、パリ日本文化会館の上映会にも招聘される。

笑いと健康をテーマにワンコイン寄席として

落語と活動映画をお楽しみ下さい!

会場：大野町総合市民センター 2階シアター

主催 大野町総合市民センター

問合せ先 大野町総合市民センター 0585-32-1111